

第五十九回
帝國議會
貴族院

簡易生命保險法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

簡易生命保險法中改正法律案

委員氏名

委員長 公爵德川 圀順君
副委員長 小松謙次郎君

子爵井上匡四郎君
子爵八條 隆正君
男爵赤松 範一君
竹越與三郎君
田所 美治君
大津淳一郎君
今井 五介君

昭和六年三月十六日(月曜日)午前十時二十三分開會

○委員長(公爵德川圀順君) ソレデハ是ヨリ簡易生命保險法中改正法律案ノ委員會ヲ開會イタシマス、政府當局ノ御説明ヲ伺ヒマス

○國務大臣(小泉又次郎君) 本案提出ノ理由ニ付キマシテハ大體本會議ニ於テ説明イタシテ置キマシタガ、尙ホ本委員會ニ於ケル御審議ノ御參考マデニ改メテ御説明申上ゲタイト存ジマス、簡易生命保險ハ民營ノ生命保險ノ及バザル所ヲ補ヒマシテ、一般國民ニ

特ニ所謂薄資者ノ保險ニ對スル需用ヲ充サムコトヲ本旨トスル制度デアリマス、然ルニ我國ニ於キマシテハ小兒ニ對スル死亡保險ハ今日マダ未ダ實行セラレテ居ラナイノ缺陷デアルト思ヒマス、政府ニ於キマシテハ此點ニ鑑ミマシテ今回現行簡易保險ノ加入年齡ノ範圍ヲ擴張イタシテ、所謂小兒保險ヲ實施イタシ制度ノ充實ヲ圖リ、簡易保險ノ目的トスル薄資者ノ保護ヲ全カラシメヤウト云フノガ簡易生命保險法中改正法律案ノ骨子デアアルノデアリマス、現行法令ニ於キマシテハ、簡易保險ニ加入シ得ル最低年齡ハ之ヲ十二歳ニ制限イタシテ居リマスルガ、其爲ニ全人口ノ約三割ニ相當スル十二歳未満ノ者ハ死亡保險ノ範圍ヨリ除外サレテ居リマス、隨テ是等小兒ノ死亡ニ依リマシテ各家庭ニ及ボスベキ經濟的打撃ハ、保險制度上ニ於テハ救済サルコトガ出來ナイノデアリマス、此點ハ從來ヨリ甚ダ遺憾トサレテ居タ所デアリマス、遞信省ニ於キマシテハ深ク此點ニ鑑ミマシテ慎重ナル研究ヲ遂ゲマシタ結果、茲ニ新ニ十二歳未満ノ者ヲ加入シ得ル所謂小兒保險ヲ實施セ

ムトスルニ至ッタ次第デアアルノデアリマス、小兒保險ハ簡易保險ノ延長デアリ其一部デアアリマスルガ、被保險者ガ弱齡ノ小兒デアアル點ヨリ致シマシテ、自ラ一般保險ト異ナル特長ヲ有シテ居リマス、今其要點ヲ簡單ニ申上ゲルコトニ致シマス、第一ニ此保險ニ加入シ得ル者ノ年齡ハ滿三歳以上十二歳未満ト致シマシタ、即チ現在十二歳以上ノ者ノミガ簡易保險ニ加入シ得ルヲ改正イタシマシテ、滿三歳マデ擴張イタシタノデアリマス、滿三歳ニ止メマシタルハ、何分我國最初ノ試ミデアリマスルカラ道德的危險ノ點ヲモ考慮イタシ、又民間事業ニ及ボス關係等ヲモ參酌イタシマシテ此程度ニ止メタノデアリマス、次ニ保險契約者及保險金受取人ハ、被保險者タル小兒ノ實父母、養父母、實祖父母、及ビ實兄姉タルコトヲ要スルモノト致シマシテ、日本ノ家族制度ノ實情ニ適セシメ、且ツハ道德的危險ヲ防止スル手段ト致シタノデアリマス、次ニ保險金額デアリマスルガ簡易保險ノ保險金高額ハ四百五十圓デアリマスルガ、小兒保險ノ最高額ハ是ヨリモ更ニ低ク致シ、且ツ又被保險者ノ死亡年齡ニ依リマシテ保險金額ニ等

差ヲ付スルコトニ致シマシタ、是ハ小兒ノ死亡ニ依リマシテ其受クル經濟的打撃ト、又萬一惡意ノ利用者アル場合ノ弊害ヲ防止スル趣意ニ基イテ居ル次第デアリマス、次ニ保險種類ハ實際上ノ事情ヲ考慮イタシマシテ、其最モ多イト豫想セラルベキ十五年滿期及二十年滿期ノ二ツノ種類ノ生死混合保險ニ限定イタシマシタ、其次ニ保險料ハ月額五十錢及一圓ノ二種類ニ特定イタシ、且ツ被保險者一人ニ付一圓ヲ限度ト致シマシタ、斯ノ如ク保險種類及保險料ヲ簡單ニ致シマシタノハ、成ルベク事業費ヲ節約イタシマシテ保險料率ヲ低廉ナラシムルガ爲メデアアルノデアリマス、尙ホ本制度實施ニ附隨イタシマシテ、被保險者タル小兒ノ健康ノ保持増進ヲ圖リマス爲ニ、小兒ノ健康相談、巡回看護等ノ施設ヲ十分講ジマシテ、死亡率ノ高キ小兒、殊ニ庶民階級ノ家庭ニ於ケル不幸ノ救済ニ對シテ出來得ル限り備フル考デアリマス、最後ニ小兒保險ニ對スル兎角ノ世評ニ關シマシテ一言辯明ヲ致シテ御參考ニ供シ公平ナル御判斷ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、世間ノ一部ニハ小兒保險ハ民業ヲ壓迫スルモノナルヤノ誤解

第四部第十九類 簡易生命保險法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號 昭和六年三月十六日

ガアルヤウデアリマスルガ、政府ハ本制度ノ實施ニ依リマシテ、民間ノ保險ニ何等ノ惡影響ヲ及スモトハ考ヘテ居リマセヌ、又左様ナコトノナイヤウニ注意イタシマシテ、立案イタシタノデアリマス、小兒ヲ相手トスル保險トシテハ、民業トシテ徵兵保險、教育保險等ガアリマスルガ、是等ハ何レモ生存保險デアリマシテ、小兒保險トハ全ク其性質目的ヲ異ニ致シテ居リマスルカラ兩者ハ兩立シ、相抵觸スル所ハナイト考ヘテ居リマス、殊ニ加入年齡ニ於キマシテ

カリニシテ此程度デ散會シテハ如何デゴザイマセウ

○田所美治君 極ク大體ノコトヲ御尋ネシ

ノ實施ニ依リマシテ、民間ノ保險ニ何等ノ惡影響ヲ及スモトハ考ヘテ居リマセヌ、又左様ナコトノナイヤウニ注意イタシマシテ、立案イタシタノデアリマス、小兒ヲ相手トスル保險トシテハ、民業トシテ徵兵保險、教育保險等ガアリマスルガ、是等ハ何レモ生存保險デアリマシテ、小兒保險トハ全ク其性質目的ヲ異ニ致シテ居リマスルカラ兩者ハ兩立シ、相抵觸スル所ハナイト考ヘテ居リマス、殊ニ加入年齡ニ於キマシテモ徵兵保險等ハ零歲ヨリ契約ヲ致シ、其契約ノ大部分ハ滿三歲以下デアリマスルカラ此點ヨリ見マシテモ小兒保險ノ爲ニ受クル影響ハ殆ドナイモノト言フテモ宜カラウト存ジマス、其他保險金額保險料共ニ著シク異ンテ居リマスルカラ、何等相侵ス所ハナイト確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、此點ハ現行簡易保險創始後ニ於ケル民間保險事業ノ著シキ發展ニ微シマシテモ、明カデアラウト考ヘテ居ル次第デアリマスル、尙ホ詳細ハ御質問ニ應ジマシテ御答ヘ致シタイト存ジマス、何卒十分御審議ノ上御協賛アラムコトヲ切ニ御願ヒ致シマス

○委員長(侯爵徳川圀順君) 餘リ御集リモ

ゴザイマセヌシ、今日ハ唯御説明ヲ伺ッタバ

ル、仍テ今回ノ小兒保險モ其積リデアルト云フ意味ノ御推論デアッタノデアリマスガ、此反對陳情書ヲ見マスト云フトサウデハナクナッテ居ル、コイツハマア公正ナ批判ト云フ御話ガアリマシタカラ我々委員モ一番重キヲ置イテ考ヘナケレバナラス、無論私モ實ハ昔在官中ハ簡易保險ヲ御ヤリニナリマシタ時分ニ現行ノ簡易保險ノ元ノ調査委員

其他ノ方法モ十分御考ヘニナリマシテ今日迄ヤラレテ居ル、ソレガ成績頗ル良好デアラウト思フノデアリマス、非常ナ保險金額モ多額ニ上リ、政府ノ又社會政策ノ關係ニ付テノ目的モ一方ニ達シテ行カレルヤウナコトニナッテ居ルヤウデアリマス、從ッテ今度ハ小兒保險ト云フコトニ著手ナサッタノデアラウト思ヒマスガ、丁度此反對者ノ言

ハ丁度大分前デアリマシタガ、小兒保險實施反對陳情書ト云フモノガ各議員ノ手許ニ廻ッテ居ルダラウト思ヒマス、數回ニ互ッテ政府ニ陳情シテ、色々繁簡精粗ハ異ニシテ居リマスルガ、趣意ハ詰リ民業ニ影響ヲ及ボシ、今日ノ不景氣ノ場合ニ官業ヲ民業ニ移シテ民業ノ救済ヲ圖ルト云フ時代ニ斯ウ云フコトハドウモ面白クナイト云フヤウナ根本ノ精神モ書イテアリマスシ、ソレカラ直接影響ヲ蒙ルノハ保險事業トシテ只今丁度大臣カラ御話ニナツタ通り徵兵保險、教育保險又其他ノ普通保險ニモ影響ヲ及ボス、其他ノ點ハ細カク説明ヲ伺フ積リデアリマスルガ、サウ云フヤウナ點デ直接保險業ノ中ノ或ル種類ノモノニハ甚大ナ影響ヲ蒙ル、斯ウ云フヤウナコトガ書イテゴザイマス、大臣ノ冒頭ニ御話ニナリマシタ民業ノ及バザル所ヲ國家ノ業デヤルノガ簡易保險デア

ノ一人デアリマシテ、斯ウ云フコトモ丁度教育ノ方ノ關係カラ委員ニナッテ居リマシタカラ、或ハ今日御考ヘニナッテ居リマス小兒保險ノ如キモノモ或ハ學資ノ爲デアルトカ、教育ノ爲メトカ云フヤウナ方カラ考ヘテ小兒保險ノヤウナコトニ迄及ボシテヤラレテハドウデアラウカト云フ考ヘモ申シタコトモアルノデアリマス、當時ハ丁度マダ初メテノ試ミデモアリマスシ、現行ノヤウナ程度ニ極メラレタ、斯ウ云フコトデ數年間實施サレテ、其報告ハ始終頂戴モ致シテ居リマスシ、詳シクモ拜見ハ致シマセヌガ、當時心配ヲ致シタ次第デアリマス、其コトハ今度ノ小兒保險以上ノ心配デアッタラウト思フ、民業ノ壓迫ト云フ意味ニ於キマシテハ……ソコデ非常ニ是ハ慎重ナ調査ヲ遂ゲラレテ、或ハ保險金ノ制度ヲ民業ト抵觸シナイヤウニスルトカ、年齡モ考ヘルトカ、

來テ居ル、保險事業ハ詳シイコトハ存ジマ

セヌガ、随分昨年以來ト云モノハ減ッテ來テ居ルダラウト思フノデアリマス、ソコヘ向ッテ直接ハ無論デアリマスガ、間接ニモ影響ヲ蒙リマスヤウナコトハ御考慮ニナラナケレバナラスノニ抑シ切ッテ一ツ小兒保險ヲヤッテ見ヤウ、斯ウ云フ何カ緊急ナ、特別ノ事情ガゴザイマスガ、之ヲ一ツ伺タイ、ソレカラ直接ニ影響ヲ蒙リマスノハ小兒保險トカ、教育保險トカノ御話デゴザイマシタガ、ソレダケノ部分デゴザイマスガ、普通ノ生命保險ニハ何等ノ影響ヲ及ボサヌ、言葉ヲ換ヘテ言ハバ普通ノ生命保險ガ十二歳以上トナッテアリマス、十二歳以下ノ者ハ扱ッテ居リマセスカト云フ點ナノデアリマス、間接ニハ無論斯ウ云フコトガ始マリマスレバ、一般ノ普通ノ生命保險ニモ及ボサウト存ズルノデアリマス、其影響ハアルガ併シ直接ノ徵兵保險、教育保險ノ如クニ接觸シテ居ル點ガ普通ノ生命保險ニモアリマスタラバ、其點モ御伺シタイノデアリマス、尙ホサウ云フ意味ニ於キマシテ、民業壓迫ノ聲ヲ一方ニ起シテ居ル時デモアル、而カモマア此不景氣ノ際ニ起シテ居ルノデアリマスカラ、其點ニ付テ本案ハ十分ニ御考慮ニナッテ居ル、只今七點ニ分ッテ御話ニナツコトモデス、皆ソレ等ノ點ニ觸レテ居ルヤ

ウデアリマスケレドモ、何等心配ハナイ、徵兵保險モ滿三歳以下、コチラハ三歳以上トナッテ居ルカラシテ、是モモウ大多數ハ三歳以上デ入ッテ居ルト云フヤウナ御話モ、從來度々御説明ニナッテ居ルヤウニモ承ルノデアリマスガ、何カデス、何カ此民間ノ反對陳情書ニ對シテ、是等ノ理由ノ認ムベキモノガアル、斯ウ云フ點ダケハドウシテモ已ムヲ得ヌ、斯ウ云フコトガ早分リニナリマス點カアレバ、サウ云フ點モ一ツ承ッテ置キマスレバ、細目ニ入ル前ニ、大體ノ精神ガ諒解シ得ラレルノデアリマス

○國務大臣(小泉又次郎君) 御答イタシマス

ス、御尋ノ御趣旨ハ最近ノ此悲慘ナ不景氣ノ時期ニ出スト云フコトハドウ云フモノデアルカ、何カソレニハ特殊ノ考ガアルカ、是ガ第一點ノ御尋デアラウト承知イタシマシタガ、最近ノ民營並ニ官營ノ生命保險ノ實績ヲ徵シテ見マスト云フト、案外不景氣ナルガ故ニ其他ノモノ、比率ト同ジヤウナル不成績ヲ擧ゲテ居ラスヤウニ思フテ居リマス、一言ニシテ申上ゲマスト云フト、國民ニ保險思想ガ普及サレタデモ申シマスルカ、保險信念ト云フモノガ、益、發展シタデモ申シマスルカ、統計ニ依リマスト云フト、不景氣ノソレ程大ナル影響ハナ

イト云フ統計ヲ示シテ居ルヤウデアリマス、政府ト致シマシテハ斯様ナ財界ノ不況、不景氣ノ際ニ於テコソ此三歳以上カラ十二歳マデノ、所謂小兒保險ト云フモノガ必要デアル、其理由ハ今日ノヤウナ不景氣ノドン底ニ於テ、薄資者階級ノ家庭ニ於テ小兒ノ死亡等ニ際シマシテハ、不時ノ出費ニ非常ニ困難ヲ來スト云フコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマスルガ、斯様ナ時ニ於キマシテ五十錢一圓ト云フ月掛ノ保險ヲ以テ、サウ云フ不慮ノ場合ニ備フル爲メ用意ヲサセマスルコトハ、即チ薄資階級ヲシテ防貧ノ基礎ヲ樹立セシメルト云フ上カラ考ヘマシテモ、却ッテ好景氣時代ヨリモ今日ノヤウナ不景氣時代ノ方ガ、斯様ナ小兒保險ヲ實施スルノニハ適當デハアルマイカ、斯様ニ考ヘタ次第デアアルノデアリマス、次ニ徵兵保險教育保險等ニハ影響ハドウカ、又其他ノ一般ノ民營ノ事業ニ對シテ影響ハナイカト、斯様ナ御問ヒデアッタヤウニ存ジマス、大體御説明申上ゲマシタル通り、當局ト致シマシテハ、斯様ナ不景氣ノ時代デアリマスルカラ、此間ニ惡影響ヲ及ボスベキ點アリト致シマスルナラバ、ドコマデモ其影響ヲ及ボサザル範圍ニ於テ、サウシテ之ヲ實行シナケレバナラスト云フコトハ當然

ノコトデアリマス、併ナガラ此小兒保險ヲ今回提案イタシマシタノハ、最近ニ此小兒保險ヲ遞信省トシテ氣ヅイタ譯デハアリマセヌノデ、現行法ヲ制定イタシマスル當時ニ於キマシテモ、既ニ小兒保險ヲ實行スルガ宜カラウト云フ說モアッタノデアリマスルガ、先ヅ其當時ハ初メテノ試ミデアルカラト云フ故ヲ以チマシテ、又一般ノ民營ニ惡影響ヲ來ス虞ナシトシナイ、斯様ナ考慮ヲ致シマシテ、十二歳ト云フ現行法ヲ實行シタノデアリマス、ソレ以來我遞信省ニ於キマシテハ、熱心ニ此小兒保險ニ付テハ慎重ニ調査研究ヲ重ネマシテ、サウシテココニ初メテ此成案ヲ得タノデアリマシテ、最近之ヲ考ヘツイテ、サウシテ突嗟ノ間ニ此提案ヲ致シタ次第デハナイノデアリマス、而シテ最モ研究イタシマシタノハ只今申上ゲマシタル通り、民間ノ營業者ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ、特ニ此點ヲ考慮イタシマシテ、其理由ト致シマシテ零歳カラモ之ヲ一ツ計算イタシテ見マスシ、一歳カラモ之ヲ立テテ見マシタ、二歳カラモ案ヲ立テテ見タノデアリマスルガ、數字ノ統計ニ依リマスト云フト、零歳、一歳二歳、是ガ八分通りハ既ニ徵兵其他ノ民間ノ保險ニ加入シテ居ルヤウデアリマス、三歳ハ即チ十分ノ二、

二分ダケガ残リテ居ルヤウナ數字ガ現ハレ
テ居ルノデアリマスルカラ、先ヅ三歳ト致
シマスレバ、民營ノ事業ニハ影響モ及ボサ
ナイ、但シ絶對ニ影響ヲ及ボサナイカト云
フト、是ハ議論ニナリマスルガ、多少僅カ
ナリトモ影響アリト致シマスレバ、ソレハ
影響デアリマスルケレドモ、當局ノ慎重ニ
調査イタシタル其結果カラ考ヘマスル
ト云フトデス、多少ノ影響ハアルカモ存ジ
マセスガ、併シソレト云フテモソレハ全ク
微々タルモノデアリマシテ、所謂壓迫トカ、
或ハ大影響、事業上ニ大支障ヲ來スト云フ
處ノナイト云フコトヲ、篤ト研究ヲ致シマ
シテ、ソコニ當局ハ確信ヲ以チマシテ影響
ナシト、斯様ニ申上ゲタ次第デアリマス、
之ヲ要シマスルノニ、斯様ナ不景氣時代ニ
實行スルノガ最モ適當デハアルマイカト思
フノデアリマス、第二段ハ民營ニハ惡影響
若クハ壓迫ヲ加ヘル虞レハナイ、斯様ニ御
答ヘヲ致シタイト思ヒマス

○田所美治君

序デニ極ク大體ノコトダケ
御聞キシマスガ、不景氣ノ今日ニ於テ段々
簡易保險ハ殖ヘテ行キヨルカラ、マア保險
料ニハ此不景氣ト云フモノハ餘リ影響ガナ
イト云フヤウニモ拜承イタシタノデアリマ
スガ、簡易保險ノ方ハ近來餘程督勵ヲナサ

テ居ラレルヤウデアリマスルシ、或ハ色ミ
又有利ノ條件モアルト存ズルノデアリマス
ルガ、是ハ殖ヘツツアルダラウト思ヒマス、
普通ノ生命保險事業ノコトハ、是ハ遞信省
ノ御管掌デハゴザンセヌケレドモ、餘程此
去年、一昨年、此不景氣時代ト云フモノニ各
會社共、著シイ影響ヲ受ケテ居ルヤウニモ
聞イテ居ルノデアリマスガ、是ハ政府ノ簡
易保險ハ大變殖ヘテ行キヨル、民間ノハ是
ニ反シテ大變滅シテ行キヨルノデ隨分困ッテ
ハ居ナイカ、斯ウ云フヤウニ聞イテ居リマ
スガ、何カ其調ベガアリマシタナラバ、表
デデモ宜シウゴザイマスガ……是ハ簡易保
險ト反對ノ實情ヲ呈シテハ居ナイカト存ジ
マス、チョット民間ノ方カラ言ヒマス、反
對者ノ方カラ言ヒマス、是ニハ書イテゴ
ザンセヌケレドモ、今ノ簡易保險ノ場合ト
正反對ニナッテ來テ居リハシナイカ、サウ云
フ譯デアリマスカラ、非常ニ危惧ノ念ヲ懷
イテ居ル、ソコヘ向ッテ小兒ノ保險ヲヤラレ
テ先取リヲセラレテシマウ、ソレニハ金額
ニモ、年齢ニモ色ミノ制限モアルガ、先ヘ
ヤラレルカラ民間ノ方デハ困ル、サウシテ
十二歳以上ニナレバ簡易保險ニ移ッテ行ク、
五百圓、六百圓級ノ零細ノ被保險者ト云フモ
ノハ皆逃ゲル、斯ウ云フコトハ徵兵保險ノ

ミナラズ、一般ノモノモ矢張り危惧シテハ
居ナイカト思フ、殖ヘテ行ク時代ナラバ宜
イガ、ドウモ大臣ノ御話デスガ、簡易保險
ノ場合ト、普通保險ノ場合ハ正反對ニナッテ
ハ居ナイカト思フノデアリマス、是ハ別ニ
表デモアリマスレバ、ソレデ拜承イタシタ
イト思ヒマス、ソレカラ徵兵保險ノ方ハ三
歳以下ヲ取ッテ居ルカラシテ、八割ハ其方
ヘ……三歳以下ト云フモノニナッテ居ル、三
歳以上ノモノデ所謂今度ノ小兒保險ト衝突
シテ來ルノハ二割位殘ルダラウト云フ御話
デアリマスガ、其點ガデス、其點ガ今度矢張
リ本案ニ付テ御考ヘニナッタ點デアリマス
カ、其民業ヲ壓迫ト云フ意味ニ於テデスナ、
此コトヲ直裁ニ伺ッテ置キタウゴザイマス
ガ、八割ト云フモノハ、チョット考ヘルト是
ハ零歳ノ場合モ考ヘタ、一歳ノ場合モ考ヘ
タ、或ハ二歳ノ場合モ考ヘタガ三歳ニシタ、
斯ウ云フ御話デアリマスガ、今度ノ場合ハ
救貧薄資者ノ保護ト、斯ウ云フ御話ガアツ
ノデアリマスガ、或ハ醫者ノ費用トカ葬式
ノ費用トカ云フモノヲ考ヘタト云フコトデ
アレバ、其目的カラ言ヘバデスナ、マア民
業トノ衝突ハ別トシマシテ、零歳、一歳、
二歳ト云フ所ガ一番ソレガ必要ナ所デ、數
十圓アレバ助カルモノガ、助ラヌデ死ンデ

シマウ、即チ徵兵保險ガ八割ヲ占メテ居ル
ト云フコトハ民業ノ壓迫、一般救貧トカ、
薄資者ノ保護トカ言フヤウナコトハ、其處
ヘ丁度當テ嵌マッテ居ル、民間ノ徵兵保險デ
モ八割ハ取ッテ居ル、斯ウ云フコトデアルノ
デアリマスカラ、是ハソレヲ棄テ、ソレ
カラ徵兵保險ニ入ッテ居ル、徵兵保險ハ詳シ
ク承ル積リデアリマスガ、死亡保險デヤナ
イト云フコトモ書イテゴザイマスガ、死ン
ダ場合ニハヤラスノダト思ヒマス、死ンダ
場合ニハ拂込金ダケヲヤル、斯ウ云フコト
ニナッテ居リマスガ、保險料ダケヲ返ヘシテ
ヤルト云フヤウナコトモアルノデスガ、ソ
レデ今度ノ小兒保險ノ方カラ言ヒマシテ
モ、目的ノ方カラ言フト、一般ノ死亡ノ多
イ處ニ矢張り侵入シテ行ク、斯ウ云フコト
デナケレバナラスノヲ、ソレヲオヤリニナ
ラスト云フコトハ、是ハ即チ民業壓迫ニナ
ルカラ、其點ハモウ三歳以下ハ目ヲ潰ッテ棄
テ、シマフ、斯ウ了解シテ宜シウゴザイマ
セウカ、残りノ二割ト云フモノニ付テハ多
少競争ニナルカモ知レナイガ、其分ハ即チ
小兒保險デヤルヤウニスル、斯ウ云フヤウ
ニ、即チ八割ト云フモノガサウナッテ居ル
カラ、三歳ニシタノハ、即チ民業壓迫ヲ緩
和スルコトニナルカモ知レナイ、目的ニハ

副ハヌケレドモ……斯ウ了解シテ宜シイノ
デゴザイマセウカ、ソレカラ普通保険ノ場
合モチヨット伺ッテ置キマス、普通保険ニ十
歳トカ、八歳トカ十二歳以下デヤッテ居リ
マシタモノモ多少アルダラウト思ヒマス
ガ、普通保険ニハ皆十二歳以上ニナッテ居リ
マスカ、是モチヨット承リタイ

○國務大臣(小泉又次郎君) 今日ノ如ク不

景氣ノ場合ニ、簡易保険ハ兎ニモ角ニモ民
營ニハ非常ニ影響ヲ及ボシテ居ルト思フ、
ソレニ付テノ何カ統計デモアルカト云フヤ
ウナ御質問デアリマシタガ、ソレハ後ヨリ
政府委員ヨリ御説明ヲサシテ戴キタイと思
ヒマス、第二ノ御尋ネノ徴兵保険ハ二歳迄
ハ八割ヲ占メテ居ルカラ後ノ二割ヲ三歳以
上ハ小兒保險ノ方カラ取ル、ソレハ零歳カ
ラ之ヲ初メナカッタノハ民業壓迫ノ恐れガ
アルカラ、三歳カラシタノデアアルガ、社會
政策、防貧政策カラ行クナラバ、零歳、一

歳ニ二歳迄之ヲ入レルノガ相當デハナイカ、
斯様ナ御尋ネニ拜承イタシマシタ、先程申上
ガマシタ通り遞信省ノ統計ノ示ス所ニ依リ
マスト云フト、零歳カラ二歳迄ハ八割ヲ占
メテ居リマスケレドモ、三歳カラハ約二割
ト云フヤウナ數字ニナッテ居リマス、社會政
策カラ申シマスト云フト、御尋ネニナッテ如

ク零歳、一歳、二歳、之ヲ入レマスコトガ、
防貧政策、社會政策ニ最モ適合スルノデア
リマスルガ、之ヲミナカラ致シマシタノハ
民業壓迫ダケヲ以テ、三歳カラ致シタノニ
ハ非ズシテ、所謂道德的危險防止トデモ申
シマスカ、零歳、一歳、二歳迄ニハ殊ニ此
道德的危險ノ恐れガアルノデアリマスルカ
ラ、先ヅ一般危險性ヲ帶ビテ居リマスル零
歳、一歳、二歳、ト云フモノヲ除キマシタ
ノハ只今申上デマシタ通り、道德的危險防
止ト云フコトヲ主ト致シマシタ、第二ハ民
業ニ多少ノ影響アリト致シマシテモ、ソレ
ヤ是ヤヲ緩和致シマスルナラバ、三歳ガ適
當デアラウ、斯様ニ考ヘタノデアリマス、
之ヲ要シマスルノニ、零歳、一歳、二歳ヲ
除キマシタノハ、道德的危險防止ヲ第一ト
致シマシテ、第二ニ民間ノ影響等モ考慮イ
タシマシテ、加味イタシマシテ三歳ノ標準
ヲ執ッテ次第デアアルノデアリマス

○政府委員(園田榮五郎君) 普通保険ガ不

景氣デ困ッテ居ルデヤナイカト云フ御話デ
アリマシタガ、茲ニ調べマシタモノハ、調
査ノ都合上一月ヨリ八月トナッテ居リマス
ノデ、前年度ヲ通ジマシタモノハ、後程調
ベマシテ又御目ニ掛ケヤウト思ヒマス、昭
和三年一月カラ八月マデノ普通民營保險ノ

契約件數ガ五十一万三千件、昭和四年ガ五
十五万五千件、五年ノ一月カラ八月マデハ
五十四万八千件、斯ウ云フ風ニナッテ居リマ
シテ、此不景氣ハ本年始タコトデハアリマ
セヌ、數年來ノ不景氣デゴザイマスガ、實
ハ昭和四年ノ保險ノ新契約ノ狀況ハ、日本
デハ未曾有ノコトデアッテ、一番成績ガ良
カッタノデアリマス、金額カラ申上デマスレ
バ、昭和三年ニ於キマシテ七億九千万圓、
昭和四年ノ一月カラ八月マデ、八億九千万
圓、昭和五年ノ一月カラ八月マデ、八億六
千万圓、斯ウ云フ狀況デゴザイマシテ、五年
ノ一月カラ八月マデ、少シ下ッテ居リマス
ガ、尙ホ且ツ三年度ニ比ベマシテ上成績ヲ
占メテ居リマス、私共ノ考ト致シマシテハ、
不景氣ノ結果ハ人心ガ緊張イタシマシテ、
ドウシテモ後ノコトヲ慮カルヤウナ氣持ニ
ナル、斯ウ云フコトガ斯ノ如ク最近年度ニ於
ケル盛況ヲ齎ラシメタノデヤナイカト思ヒ
マス、簡易保險ノ方ニ致シマシテハ、最近

年々二百十万件乃至二百五十万件ヅ、殖エ
テ參ッテ居リマシテ、昨年ハ一年度ヲ通ジマ
シテ二百十五万件ノ新契約デゴザイマシタ
ガ、本年ハ今日マデニ既ニ二百二十五万件
ヲ取ッテ居リマスガ、恐ラク本年末マデニハ
二百四十万件位ニナルト思フノデアリマ

ス、尤モ御諒知置キ願ヒタイノハ、此不景
氣ノ爲ニ解約執行等ガ殖エテ居リマス、是
ハ民間會社モ簡易保險ノ方モ同様殖エテ居
リマスガ、サシタル増加デハアリマセヌ、要
シマスルニ不景氣ト云フモノハ人心ニ緊張
ヲ齎ラシメテ保險ノ如キモノデ將來ヲ慮ッ
テ置クト云フ氣持ガ民間ノ庶民ノ間ニ盛ニ
ナッテ來タト云フコトヲ立證スルモノデハ
ナイカト竊ニ考ヘテ居リマス、尙ホ民間會
社デ十二歳以下ノモノガアルカト云フ仰セ
デアリマスガ、十歳十一歳ト云フモノガ早
計二十社位アリマス、他ハ皆十二歳以上デ
アリマス

○田所美治君 私意外ニ考ヘマス、普通保

險モ段々殖エテ居ルト云フコトデアリマス
ガ、翼クハ一ツ表ヲ頂戴イタシタイノデス、
是ハ意見ニナリマスカラ其部分ハ申上デ
ズ、細目ニハ今日互ラヌト云フ次第デアリ
マスカラ……サウスルト大臣ノ話ニ依リマ
スト、零歳カラ三歳マデヲ、二歳三歳以下
ヲ除ケタノハ、民業ノ壓迫ト云フコトモ考
ヘタガ、主トシテ道德的ノ方面カラ考ヘタ、
詰リ保險金取リタサニ子供ヲ殺ス、斯ウ云
フモノデアアラウト思ヒマス、其意味デアラ
ウト思ヒマスガ、ソレハ段々意見ニ這入ッテ
參リマスカラ止メマスガ、其邊ハ餘程今度

ノ小兒保險デモ考慮ニナッテ居、テ……三歳ガ六十圓デゴザイマシタカ、最低六十圓位ト云フコトカラ段々上ボッテ行ッテ二百何圓ニナッテ居ル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、私一番政府ガヤラレル社會政策關係デ、民業ノ及バザル所ヘ手ヲ付ケル、斯ウ云フ意味ノ御振レ出シデアルナラバ、既ニ三歳以上ヲ、民間ノモノハ或ハ誇大シテ言ッテ居ルカモ知レマセヌガ、反對ヲ押切ッテヤラウト云フ御考デアルナラバ、一番死亡ノ多イ所ハ二十圓デモ三十圓デモ、二十圓、三十圓、四十圓位ノ階級ヲ拵ヘデモ宜イト思ヒマスガ、一番死ノ多イ所ヲ殘シテ居ルト云フコトハ、是ハ又直グニ問題ニナルノデハナイカト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレヲ民業壓迫ノ點ガ緩和サレルト云フコトノミノ理由ナラバ能ク直チニ分リマスケレドモ、

八割ハ既ニ除外シテシマッテ、二割ダケ……二割ハ間接ニハ影響ヲ及ボシマセウ、ケレドモ、直接ニハ二割ト云フコトダケデモ、一方ニ大キナ目的ノ爲ニソレヲ犠牲ニスル、斯ウ云フコトハアリマセウ、道德的ト云フコトデ云フト、六十圓貫ッテモ殺スモノガアルカモ知レマセヌ、是ハ程度ノ問題デアリマスガ、一番死ヌノハ、寧ロ其中ノ醫療費ナドモ餘リ掛ラスデ、今日生レタカト思フ

ト一月以内ニハ大分コロ／＼死ヌ、斯ウ云フモノニ對シテハ何カ、唯道德的ニドウシタト云フコトデナシニ、貧窮者ノ保護ト云フコトニ付テハ、其處マデ御出デニナラヌト不徹底デハナイカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘマスガ、是ハ段々意見ニナリマスカラ申上デマセヌガ、サウ云フコトニ付テモウ少シ詳シイ御説明ハアリマセヌカ

○國務大臣(小泉又次郎君)

社會政策的ノ

見地カラ考ヘマシテ、又防貧ノ爲ニスルト云フコトデアリマスレバ、只今ノ御説ノ通りガ最モ當ヲ得タコトカト考ヘマスルガ、前段ニモ申上デマシタ通り、零歳カラ二歳迄ハ極メテ死亡率ガ多イト云フコトハ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマス、殊ニ道德的危險ノ可能性ヲ帯ビテ居ルコトデアリマスルシ、又始メテノ試ミデアリマスルカラ、一先ヅ之ヲ實施イタシマシテ其經過實績ニ徴シマシテ、漸進主義ヲ以テ漸次又零歳マデ之ヲ延長イタシタイトモ考ヘデ居リマスルガ、併ナガラ今直チニ零歳マデ延長スルト云フ意思ハアリマセヌ、漸進主義ヲ以テ之ヲ一ツ實行シテ見タイ、斯様ナ考ヲ持ッテ居リマス

○田所美治君

私バカリ御尋ネシテ甚ダ相濟ミマセヌガ、今一ツ大體伺ッテ置キマス

ガ、大正何年デアリマシタカ今ノ簡易保險ヲ御實施以來、マア非常ナ、色々慎重ニ案ガ出來マシテ斯ウ云フモノガ出來テ居リマスガ、簡易保險ノ爲ノ民業壓迫ト云フモノヲ政府ノ方デ御感知ニナッタコトガアリマセヌカシテ、現在ノ簡易保險ノ數年間ノ實施ノ成績ニ鑑ミテ、景氣モ段々好クナリマシテ保險思想モ普及シテ行ッタシ、今丁度

政府委員ノ御説明ノ通りノヤウナ狀況デ、此不景氣ノ際ニモ此通り進ンデ居ル、斯ウ云フコトデアルナラバ民業壓迫ハ毫モナカラウト思フ、初メハ三百圓、二百圓デアッタガ、ソレカラ段々進ンデ今日ノ四百五十圓ト云フコトニナリ、民間ノ方デハ五百圓以上ニナッテ居ルガ、大體サウ云フコトデ兩方デ併進シテ行ッテ、社會ノ進歩ト共ニ保險思想ノ普及及發達ト云フコトデ、何等ノ此簡易

保險ノ爲ニ、民業ノ壓迫ト云フコトハ現簡易保險ノ實施ノ時ニハナカッタノカ、私共ハ迂闊デ其方ニハ始終ハ注意シテ居リマセヌカラ、ソレヲ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(園田榮五郎君)

御答ヘ申上デ

マス、御存ジノ通り簡易保險ガ始マリマス際ニハ是ハ民業ヲ壓迫スルモノトシテ、非常ナ御議論ガ當院ニ、衆議院ノ方ニモゴザイマシタガ、種々御議論ノ結果漸ク三百圓ヲ二百五十圓トシテ通過シタヤウナ事情デアリマシタ、然ル所其後實施致シテ見マスルト云フト、是ハ私共烏滯ガマシク聞エルカモ存ジマセヌガ、却ッテ民業ヲ御助ケシタノデナイカト云フヤウナ風ニモ見ラレルノデアリマス、ト申シマスルノハ、當時ノ委員會等ニ於ケル聲明等ニ依リマシテ、兎ニ角第一ニ保險思想ノ普及宣傳ト云フコトヲ努メテ個々ニ付テ勸誘等ヲヤラナイト云フヤウナ話合ヒニナリマシテ、或ハ活動寫眞ヲ利用スルトカ、或ハ講演會ヲ利用スルトカ、様々ナ方法ニ依リマシテ、保險思想ト云フモノノ非常ニ普及宣傳ニ努メマシテ、其結果民間ノ方ニモ保險ガ取り易イト云フヤウナ聲ガ隨所ニ聞ヘルコトニモナリマシタ、爾來民間ノ保險會社協會ト私共ノ方ト提携ヲ致シマシテ、協同宣傳ヲ年々催シツ、參ッテ居ルノデゴザイマス、最近ニ於テモ年々催シテ參ッテ居リマス、左様ナ風デ民間ノ方ニハ當初ハ成程幾ラカノ影響ハアッタカモ知レマセヌガ、年所ヲ重ネルニ從ヒマシテ、格別ノ影響ハナイ、ト思ヒマスルノハ一方ニ於テ民間ノ方ト簡易保險ノ方トハ金額ガ大分違ヒマス、今日トナリマシテハ五百圓ナント云フモノハ民間ノ方デハ殆

ドゴザイマセヌ、割合ニ致シマシテ、五百圓以下ハ一厘ト云フヤウナコトニ相成テ居リマス、要スルニ此小サナ保險金額ヲ民間デ御取リニナルト云フコトハ、是ハ事業費ヲ影シク増加サセマシテ、實ハ割合合ハナイノデアリマス、ソレヨリハ寧ロサウ云フ方面ハ簡易保險ノ方ニ廻シテヤル、斯ウ云フコトドゴザイマスノデ、簡易保險ハ御承知ノヤウニ二百五十圓カラ三百五十圓、三百五十圓カラ只今ハ四百五十圓、漸ヲ追ウテ金額ヲ増シテ參リマシタガ、其趣旨ハ民間ニ於テ御取リニナリマセヌノデ、ソコニ民間ノ御取リニナル金ト簡易保險ノ取リマシタル金額トノ間ニソレ「ギヤッ」ガ出來テ參リマシテ、其差額ガドウシテモ利用スルコトガ出來ナイト云フヤウナ情勢ニナリマスルノデ、貨幣價值ノ變動ト共ニ二百五十圓カラ三百五十圓、三百五十圓カラ四百五十圓、斯ウ云フ風ニ増加シテ參リマシタ、別段ソレデ民間ノ方ニ影響ハ及シテ居ラヌ、斯ウ存ジテ居ルノデアリマス、大體ト致シマシテハ簡易保險ノ如キ少額ヲ御契約ニナリマスルコトハ、民間トシテハ事業費ガ嵩ムバカリデ、實ハ損毛デアルト云フヤウナコトカラ、サウ云フ風ニナッテ居リマス、尤モ民間ノ會社モ多數ドゴザイマシテ、

百圓デモ二百圓デモ三百圓デモ取レルモノハ取ラウト云フ斯ウ云フヤウナ會社モアルカノヤウニ考ヘマスケレドモ、大勢論トシテハ小サナ金ハ御取リニナラヌ、從テ簡易保險ノ實行ハ民間ニハサシテ影響ヲ及シテ居ラスノミナラズ、却テ保險思想ノ普及宣傳ニ付テ御援ケシテ居ルト云フ風ニ私共ハ解シテ居リマス

○田所美治君 モウ一ツ伺ッテ置キマス、今度御ヤリニナル小兒保險ハ死亡スル場合ノ所謂死亡保險、普通保險ノ生命保險ト云フ奴デスガ、先刻ノ御話デハ徵兵保險トハ違ッテ居ル、徵兵保險ノ方デハ徵兵ニ行ッタ場合ニヤル、斯ウナッテ居ルノデスネ、是ハ即チ

年期保險見タヤウニナッテ居ル、今度ハ小兒保險デハ死亡保險ト云フ一ツハ其有期保險デスカ、年期保險モ御ヤリニナル、斯ウ云フコトデアリマスガ、民業ノ關係ヲ御考慮ニナレバ、小兒保險ヲヤッテ死亡保險ダケデ御止メニナル譯ニハ行カナイモノデスカ、貯蓄保險見タヤウナ、徵兵保險見タヤウナ十五年二十年モ掛カルト云フコトハ止メテシマッテ、死亡保險、即チ民業ニ影響ヲ及サナイト云フ其點ダケデ一ツ試ミテヤル、斯ウ云フ御考ヘハナカッタノデアリマスガ、尙ホソレヲ伺ッテ置キマス

○政府委員(園田榮五郎君) 今年企テマシタノハ十五年滿期、二十年滿期ノ滿期保險ト申シマシテ、是ハ生死混合保險ト稱シテ居リマス、大體今度ノ立案ノ趣旨ハ庶民階級ノ小兒ノ死亡ニ依リマシテ蒙ル所ノ經濟上ノ打撃ヲ所謂共存共榮ノ保險ノ組織ニ依ッテ救済シテ行キタイ、仍テ以テ自助自給ノ精神ヲ國民ノ間ニ植付ケマシテ、極貧者ノ救済ト云フ政策モ然ルベキデアリマスケレドモ、ソコマデ至ラヌ國民ノ大多數ヲ占メテ居リマスル庶民階級ヲ自助自給ニ依リマシテ、此共存共榮ノ保險制度ニ依ッテ救ヒタイ、斯ウ云フノ趣旨デゴザイマス、同時ニ死ニマシタ場合ノ葬式料其他ノモノヲ支辨スルト共ニ、幸ニシテ生延ビマシタ場合ニハ或ハ店ヲ開ク資本ニモナリ、或ハ結婚費ノ足シニモナリ、或ハ學資ノ足シニモナラウ、斯ウ云フノ十五年滿期、二十年滿期ノ二ツトシマシテ、其期間中ニ死ニマシタ者ニハ勿論ヤルノデアリマス、併ナガラ死ヌトハ限リマセヌノデ、大多數ハ生キ延ビルノデアリマスルカラ、生延ビマシタ場合ニハ學資、婚資ノ扶ケニナル、斯ウ云フ譯デ十五年二十年ノ滿期ト致シマシタ、死亡保險ノミト仰セラレマスルノハ要スルニ修身保險ノミニシタラドウカ、斯ウ云フ

御説デアラウト思ヒマスガ三ツヤ四ツノ子供ノ頃カラ死ヌル迄保險ガ貰ヘヌト云フノハ如何ニモドウモ餘リ永遠ノ話ノヤウデゴザイマス、外國ニハ一二サウ云フ制度モナイコトハゴザイマセヌガ、極クソレハ志望者ガ少ウゴザイマシテ、統計上殆ド記入サレナイヤウナ狀況デアリマス、ソレヨリモ制度ヲ簡單ニシテ十五年二十年ノ二ツニ致シマシテ、後ノ機會ニ申上タイト存ジマスガ、保險料ヲ小サク致シマシテ、保險料ヲ安クスル、斯ウ云フ風ニシタ方ガ宜シカラウト存ジマシテ、生死混合ノ十五年、二十年、斯ウ致シマシタ次第デゴザイマス

○田所美治君 是ハ頂戴致シテ居リマスガ、皆様ハ御頒ケニナッテ居リマスガ、私徵兵保險會社其他ノ約款ト言ヒマスカ何ト言ヒマスガ、其目的、事業ノ範圍等一ツ拜見シタイト思ヒマス

○政府委員(園田榮五郎君) 之ニ皆書イテゴザイマス

○田所美治君 色々御質問ガゴザイマスケレドモ、マア私ハ今日ハ大體之位デ……

○委員長(公野德川國順君) 如何デス、外ニ御質問アリマセヌカ

○竹越與三郎君 保險會社デ保險料ハ違フケレドモ、小兒保險モヤッテ居ルサウデス

ガ、政府ガ別ニ斯ウ云フモノヲオヤリニナルト云フノハ、ドウ云フ目的ナンデスカ、金ヲ儲ケタイト云フノカ、所謂國家社會主義ニ踏ミ出シテ、賦ヲ加ヘズシテ上用足ルト云フヤウナコトデ、租税外ニ收入ヲ増シタイト云フノデアルカ、或ハ保險會社ノヤリ方ガ惡イカラ、之ヲ直サウト云フノデアルカ、無イモノナラバ可イガ、既ニアルモノデアル、アルノニ政府ガヤルト云フニハ、何カ其處ニ主義上ノ理論ガナケレバナラヌト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○國務大臣(小泉又次郎君) 竹越君ノ御質問ニ御答イタシマスガ、政府ト致シマシテハ決シテハ非營利的デハナイノデアリマス、即チ是ハ非營利的デアリマシテ、決シテ國家ノ歲入ニハ何等ノ關係ヲ有テ居リマセヌ、御承知ノ通り、現在ノ簡易生命保險ハ積立金運用ノ委員會制度ニナッテ居リマシテ、委員會ニ諮問ヲ致シマシテ、サウシテ之ヲ地方ニ還元スル目的ヲ以テマシテ、所謂地方ノ産業、衛生、教育、土木等有ラユル公共團體ニ之ヲ低利ヲ以テ貸付ケテ居ルノデアリマス、一面積立金ハ申上ゲルマデモナク、死亡生存ノ返還ニモ之ヲ充テルト云フコトニモ致シテ居ルノデアリマス、一言ニシテ申上ゲマス、國家ノ營利ノ爲

デハナク、ノミナラズ、國家ノ財政ニハ少シモ之ヲ利用スルトカ運用スルトカ云フコトハナイ、所謂歲入ニハ一文モ國家ハ致シテ居リマセヌ

○竹越與三郎君 民間ニモ同ジヤウナ似タモノガアルノニ政府ガ別ニヤラナケレバナラスト云フ譯ハドウ云フコトデアルカ、其理由ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(小泉又次郎君) ソレハ先程モ申上ゲマシタル通り今日ノ小兒保險ノ制度ハ民間ニモ、國ニ於テモ未ダ之ヲ試ミテ居ラスノデアリマス端的ニ申上ゲマスルナラバ現行法ノ簡易生命保險ノ年齡ノ延長ト云フコトガ公平ナル解釋ダラウト思ヒテ居リマス、年齡ガ現在ハ十二歳カラ六十歳マデニナッテ居リマスルガ、ソレヲ今度ハ三歳マデ延長シヤウ、之ヲ以テ小兒保險ト名ヲ付ケマスルケレドモ今申上ゲマシタル通り現行法ノ年齡ノ延長ト思召シ下サルト云フト御了解ニナルト思ヒマス

○竹越與三郎君 サウスルト年齡ノ差ダケデアッテ小兒保險ト云フモノハ實質ニハアルノデスナ民間ニ……年齡ガ政府ノ御好ミニナラスト云フダケデ……

○國務大臣(小泉又次郎君) 民間ハ先程カラ屢々質問應答ニアリマシタ如ク徴兵保險、教育保險其他ノ生存保險デアリマシテ、徴兵保險ノ如キハ零歳カラ之ヲ契約スルコトニナッテ居リマス、併ナガラ是ハ生存保險デアリマシテ、死亡ノ保險ハ徴兵保險ノ方ニハナイノデアリマス、又申ス迄モナク是ハ一般ノ三歳ノ小供デアリマスルガ、徴兵ノ方ハ女子ハ全然除外イタシテ居リマスルカラ小兒保險ト同ジヤウナ性質ノヤウナモノハ先ヅ民間ニハ今日マデナイト云フデモ差支ヘナイノデアリマス

○竹越與三郎君 サウスルト政府ハサウ云フコトガナケレバिकासト云フ思召デアアルナラバ、民間ノ保險會社ヲ招集シテ、政府ハ斯ウ云フコトヲ必要ト思フガ併シ民業壓迫ニナッテハिकासガ、諸君ハ政府ノ意圖ヲ容レテ新ナ定款ヲ設ケテ新ナ「スタート」ヲスルト云フコトヲヤル氣ハナイカト云フコトヲ試ミテ、而シテヤラスト言ッたらバ政府ガ初メテヤルト云フヤウナ「プロセス」ヲ探ル御考ヘハアリマセヌカ

○國務大臣(小泉又次郎君) 御尤ノ御尋ネニ考ヘマスルガ、之ヲ政府デヤリマスルコトハ、簡易生命保險ハ絕對之ヲ政府ノ專業トスル、所謂「パテント」トスル、ソレハドウ云フ譯デアアルカ、茲ニ一ツノ理由ガ生ジャウト思フノデアリマスガ、民營デ之ヲヤル

ト致シマスルト、自然民營ニハ競争ガ起リ易イカト思ヒマス、競争ノ結果如何ナル弊害ガ生ジナイトモ是ハ斷定ガ出來マセヌ、モウ一ツハ民營ニ於テ若シモ是ガ甲乙丙丁ト云フヤウナ幾ツニモ會社ガ出來ルト致シマスルト云フト道德的危險ト云フモノガ生ジ易イ、所謂死亡保險ガアリマスルカラ僅カノ保險料ヲ拂込ミマシテ、サウシテ三箇所、四箇所カラ一時ニ保險金ヲ取ルト云フヤウナ道德的危險ト云フモノガ生ジ易イ、斯様なコトモ考慮イタシマシタ、之ヲ要シマスルノニ之ヲ國家デ經營イタシマスルコトハ先ヅ第一ニ其事業ノ基礎ガ鞏固デアアル、ソレカラ第二ニ非營利的デアアル、ソレカラ第三ニ全國的ニ普ク之ヲ徹底セシメル、其方法ト致シマシテハ全國ノ郵便局デ之ヲ取扱ハセマスルカラ都鄙ヲ通ジテ普ネク實行ガシ易イ、斯様な點ヲ考慮イタシマシテ民營ト云フコトニハ考ヘヲ持タズ政府ガ獨斷的ニ之ヲ斷行スル、斯様な考ヘヲ以テ立法イタシタ次第デアリマス

○竹越與三郎君 サウスルト之ヲヤル以上ハ民間ニハ一切同種類ノモノハヤラセナイト云フ此趣意デアリマスカ「パテント」ニナル……

○國務大臣(小泉又次郎君) 同種類……或

ル點ニハチヨット種類ヲ同ジウスル點モゴザイマセウケレドモ、全然之ト同ジヤウナモノハ斷ジテ民間ニ委ネナイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ッテ居リマス

○竹越與三郎君 ソレハ何處カ此法律ノ中ニ政府ノ外ハヤルコトハナラヌト云フ簡條デモアルノデスカ

○政府委員(園田榮五郎君) 御手許ニ差上ガテゴザイマス簡易生命保險法ノ第一條ニ「簡易生命保險ハ政府之ヲ管掌ス」第二條ニ「簡易生命保險事業ハ保險會社之ヲ營ムコトヲ得ス」斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、然ラバ簡易生命保險トハ如何ナルモノデアルカ、斯ウ云フコトニナリマスルト云フト簡易生命保險ト申シマスルハ其特色ト致シマシテハ全額ガ小口デアル、小サナモノ……只今ハ法律ヲ以テ四百五十圓ニ限定シテゴザイマスルガ、金額ガ小サイモノデアルト云フコトト、醫者ノ診査ヲ致サナイ、無診査小額、ソレガ二大特徴ニナッテ居リマシテ、モト……是ハ庶民階級ノ……

○竹越與三郎君 失禮デスガ政府ガ外ノモノニ許サヌト云フコトガ分レバ宜シウゴザイマス、矢張り今度ノ付加ヘマシタ簡條モ民間ニハ許サナイト云フコトガアリマスカ

○政府委員(園田榮五郎君) 左様デゴザイ

マス、其コトヲ申上ゲテ居リマスガ、小兒保險ハ先程大臣カラ御話ガアリマシタ如ク子供殺シノ危險ガ最も多イノデアリマシテ、各國共ニ皆少額ニ致シテ居リマス、四時ニ子供ハ之ヲ醫者ガ診査イタシマシテモ子供ノコトデゴザイマスルノデ今日健康デアリマシテモ明日不健康ニナルコトモアリ得ル、サウ云フ風デ小兒保護其モノガ少額デ且ツ無診査デアル、斯ウ云フ二ツノ簡易保險ノ條件ヲ備ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ小兒保險ハ簡易保險ノ一種デアル、從テ政府之ヲ管掌シ、會社之ヲ營ムコトヲ得ズ、斯ウ云フコトニ結論ガナルノデアリマス、又諸外國ノ實際ニ於キマシテモ、理論ニ於キマシテモ簡易保險ノ一種トシテ見、サウシテ小兒保險ヲヤッテ居リマスヤウナ結果デアリマス

○子爵八條隆正君 今ノ點ニ關聯シテ……小兒保險ハ簡易生命保險ノ一種トシテ政府ノミガ之ヲヤッテ、保險會社ニヤラセナイト云フコトハ、矢張り現行法ノ第一條ト第二條トニ基礎ヲ置カレルノデスカ

○政府委員(園田榮五郎君) 左様デゴザイマス

○委員長(公爵德川圀順君) 別ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ、今日ハ是ニテ散會シ

テハ如何デアリマスカ……ソレデハ是ニテ散會イタシマス、次回ハ彙報ヲ以テ御通知イタシマス

午前十一時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵德川 圀順君

委員

子爵井上 匡四郎君

子爵八條 隆正君

男爵赤松 範一君

竹越與三郎君

田所 美治君

大津淳一郎君

今井 五介君

國務大臣

遞信大臣 小泉又次郎君

政府委員

遞信政務次官 中村啓次郎君

遞信參與官 福田 五郎君

遞信省經理局長 大橋 八郎君

簡易保險局長 園田榮五郎君

昭和六年三月二十三日印刷

昭和六年三月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局